



鹿嶋マイハート便り

発行元：千葉県循環器病センター 地域医療連携室（直）0436-50-6501 F A X 0436-50-6503
 〒290-0512 千葉県市原市鶴舞575 0436-88-3111(代表) F A X 0436-88-3032
 U R L <http://www.chibakenritsubyouin.jp/junkan/index.html>

循環器病センター5つの運営指標

良質で模範的な医療の提供を目指します。
 温かさ・思いやりの心で県民の皆様がいつでも安心して受診できる施設を目指します。
 常に高度で先進的な医療を提供するため、職員一人ひとりが技術研鑽に努めます。
 近隣の病院・診療所と密接な連携をはかり、地域全体の医療の向上を目指します。
 透明性のある医療を目指し、インフォームドコンセント（十分な説明・同意）に努めます。

栄養管理で患者様の治療に貢献します！！

NSTとは？

Nutrition Support Team（栄養サポートチーム）のことで、患者様が栄養を摂取できない、あるいは食事の量が減ってきた等の問題が生じた場合に、その原因や状態を把握し適切な処置や栄養管理を行います。

NSTは、チームを取りまとめ、チームと診療科をつなぐ役割を務める医師、患者様の身近におり状態の変化を把握しやすい看護師、病状に応じた栄養内容を計画する管理栄養士、輸液・栄養剤についてのアドバイスや情報提供を行う薬剤師に加え、言語聴覚士や臨床検査技師等多様な医療スタッフによって構成されています。

NSTメンバーは、それぞれの立場から意見を出し合い、患者様にとって、より良い方法で栄養管理を行っていきます。

NSTによる栄養管理が行われないとどうなってしまうのでしょうか？

栄養不良状態となってしまうことがあります。その状態が長く続くと、手術やケガの傷、床ずれなどが治りにくくなったりします。また、免疫力が低下し感染症にかかりやすくなり、病状が悪化することもあります。手術後に合併症を引き起こす危険性も出てきます。

NSTによる栄養管理はこのようリスクを軽減し、治療を側面からサポートします。



NST委員会
 栄養面でのケアが必要だと思われる患者様について意見を出し合います。



回診
 院内を巡回して患者様の栄養状態を確認します。

患者様を栄養面から支えます ~NSTスタッフ集合！~



目次	
NST(栄養サポートチーム)のご紹介	1
岡本先生・石橋栄養科長へインタビュー！！	2
内科の常勤医の先生が帰ってきました！	3
センターからのお知らせ	4

注目
 千葉県循環器病センターのホームページアドレスが新しくなりました！！

<http://www.chibakenritsubyouin.jp/junkan/index.html>

当センターの外来・診療科・セカンドオピニオン等の情報をチェックすることができますので、ご覧ください！！





心と体の管理まで！！ NST担当医 外科岡本先生へ！インタビュー～！！



現在のNSTは何名体制ですか？

25名体制で行っております。

NST担当医師としてどのような業務を行っていますか？

栄養スクリーニング や患者様ごとの栄養評価を行ったり、各診療科の先生へのアナウンスを行うなど、NSTと診療科とをつなぐ役割をしています。

NST担当医師として実際の患者様の診断・治療にあたって心がけていることはありますか？

体重変化、血液検査などを参考にしますが、それらのデータだけではなく、患者様の病状や身体の状態、食に対する要望を実際に確認して対応するよう心がけております。

業務で困っていること・苦労していることは？

NSTが患者様の栄養管理を全て行えるわけではないので、NSTスタッフと各診療科とのコミュニケーションが重要になってきますが、まだ不十分な所もあり、NSTスタッフ共々、さらに改善に努めたいと思います。

患者様とのコミュニケーションで心がけていることは？

NSTに限らず、医療では患者様の話を良く聞くということが大事だと思いますが、それだけではなく、少しでも患者様に本音を言ってもらえるような雰囲気

作っていく必要があると思います。その上で、患者様が困っていることや悩んでいることを引き出せるよう心掛けています。

NST担当医師として患者様に一言お願いします。栄養不足を改善するために栄養補助食品があります。最近は様々な種類のものが出てきており、お口に合いにくい場合にも工夫の余地がありますので、担当者にご相談ください。

最近仕事で嬉しかったことは？

最近に限らず、患者様が元気に退院していくことがこの仕事をしていて一番嬉しい事ですね。

先生のお勧めする健康食材を教えてください。

健康食材と言えるかどうかわかりませんが、「お茶」です。子供の頃から、親しんでおります。

休日は何をして過ごされていますか？

気分転換のために、小旅行ですね。小さな温泉街などへ出掛けたりします。

長期休暇があれば何がしたいですか？

中旅行で、旅先でゆっくりしたいですね。

栄養スクリーニングとは

...身長、体重、血液データなどから、低栄養状態の患者様やリスクを有する患者様を抽出すること。



循環器病センターの母の味！！ 栄養科 石橋科長にインタビュー！！ ～あなたの心に栄養を～



NSTの活動内容を教えてください。

各病棟から栄養状態の悪い方をピックアップして、その方に見合った栄養改善の方法を他職種とともに検討していくということを行っています。

他職種のスタッフとの連携はどのように行っていますか？

委員会の中で他職種の方から専門的な意見をいただいたり、病棟の看護師さんから随時情報をいただいたりしています。

栄養管理の面で、NSTを立ち上げる前と立ち上げた後での違いを教えてください。

以前よりも、病院全体が栄養に関して関心を持つようになりました。例えば、患者様の栄養状態を評価する際には体重が重要な指標となりますのですが、以前は患者様一人ひとりの体重を測定し、そ

の増減を見るということが今より徹底されていなかったと思います。

当センターNSTならではの対策・対応は？

他の病院と比較して、担当の先生がNST活動にとっても力を入れてくださっているの、助かっています。

NST担当栄養士として、患者様に一言。

「病を作るも治すも栄養から。」



内科の常勤医の先生が帰ってきました！

当センターでは、昨年度、内科常勤医の先生が不在で、内科の受診を希望される方にはご不便をおかけしておりましたが、今年4月から藍先生が常勤医として診察に当たることになりました。先生は以前も当センターに常勤医として勤めていた経験があります。院内のことも熟知しており、非常に心強い先生に帰ってきていただいたと思っています。

当センターでは、利用者の皆さまに安心して受診していただけるように、今後も医師の確保に全力をあげて取り組んでいきたいと思っています。

なお、内科の外来については非常勤医師の協力のもと、月～金曜日の午前中に行っています。詳しくは、センターホームページや院内に掲示してあります週間外来予定表をご確認ください。

藍先生のお仕事風景

内視鏡検査の様子
取材しました。
診察中時折ジョークをはさみ、患者さんを和ませる姿が印象的でした。



内科部長 藍先生ヘインタビュー！

センターへの通勤はなるべく自転車です！生活に適度な運動を取り入れています。



内科の中でも様々な分野があると思いますが先生の専門分野はなんですか？また、専門分野以外の患者さんも診察していますか？

専門は消化器内科です。軽症な高脂血症、高血圧、糖尿病なども診察しています。

業務の中で心がけていることがあれば教えてください。

「私自身が受けたいと思う医療」を提供できるよう心がけています。

業務の中で困っていることや苦勞していることはありますか？

常勤医が一人なので、技術的には可能でも、物理的に出来ないことも多く、マネジメントに多少の苦勞があります。

他の診療科との連携はどのようにしてとっていますか？

鶴舞病院の時代からスタッフの間の風通しがよく、直接医師の間で相談が出来るので非常に仕事がしやすいです。

なぜ内科医になろうと思ったのですか？

内科を目指した主な理由は、内科の本質は「診断学」で、診断に至るプロセスに興味があったからです。医学生の時治療に直接結びつく外科にも興味がありましたが、胃腸が弱く手術中トイレに行きたくなると困ると思い断念しました。実際はトイレに行けるようですけど（笑）

休日はしっかりとれていますか？また、何をして過ごしていますか？

休日は、他の先生の協力のおかげでちゃんと取

れています。自転車に乗ったり、ゴルフに行ったり、DVDを観たり、お酒を飲んだり、マージャンをしたりしています。

先生オススメの健康法を教えてください。

やはり自転車ですね。膝にもやさしいし、地球にもやさしいです（笑）。他には、「こうであったらなあ」という未来を夢見ることです。現実には望んだような毎日ではないけど、「きっといつかそういう日が来る」と楽しい未来をイメージしていると精神的にも良いです。実際は、楽しい未来は来ないかも知れませんが（笑）

藍先生から見て、当センターはどのような病院ですか？

いい病院かどうかを測る方法は色々あると思いますが、私は「自分が病気になったとき、その病院で医療や看護を受けたいか？」もひとつの基準だと思っています。そういう意味では、当センターは、いい病院だと個人的には感じています。

内科医として当センターで今後どんなことを目指していきますか？

どの科も今は、単科で医療を行うのは難しい時代です。各科と持ちつ持たれつで、円滑に医療を行えるよう力を尽くしたいです。

内科部長として患者様に一言お願いします。

医療を受ける側のニーズ全てに応えるには、いろいろな困難がありこれからも不便をお掛けすると思いますが、当センターで医療や看護を受けてよかったと思って頂けるよう、お役に立ちたいと思います。

～みなさまのご参加ありがとうございました～
市民公開講座 6月26日(土)



今回の市民公開講座では、小野センター長と小出副看護師長が脳卒中の予防と治療について講演をしました。

約100名の方にご参加いただき、講演後には多くの質問が出るなど、非常に内容の濃い講座となりました。

次回の市民公開講座は、平成23年1月開催予定です。講演のテーマはみなさまから頂いたアンケートの結果を参考にして決定したいと思っています。

平成22年度第2回医療安全研修会を実施しました！

7月23日(金)18時から、医療安全研修会が行われ、多くのセンター職員が参加し、医療安全に対する意識を高めました。

まず鈴木医療安全管理室長からあいさつがあり、その後放射線安全委員会が「MRI室での注意点」や「放射線業務従事者の心得」について講演を行いました。最後に防災・災害医療委員会が中心となって、AED実技訓練を行いました。実技訓練には日頃医療に従事するスタッフだけでなく、事務職員も参加しました。



市原市防火推進協会から表彰されました！

当センターの日ごろの防火管理体制が評価され、市原市防火推進協会から表彰を受けました。今後も当センターでは、定期的に防災訓練を行うなど、災害の発生防止に努めていきたいと思っています。



心臓血管外科の浅野主任医長
防災・災害医療委員長として
尽力してくださっています。

千葉国体を盛り上げよう！～ゆめ半島千葉国体花いっぱい運動～

9月25日から10月5日までの11日間「第65回国民体育大会」が県内32市町で、10月23日から25日までの3日間「第10回全国障害者スポーツ大会」が県内7市町で開催されます。

当センターでは、国体を応援する意味を込めて、花の苗を育てています。苗を植えてあるプランターには県民のみなさまの国体応援メッセージが書かれていますので、興味がある方はぜひご覧になってください。



2010年
ゆめ半島
千葉国体
マスコット
キャラクター
「チーバくん」



ギャラリー 二つ返事

- 9月 長南フォトクラブ「写真展」
- 10月 鶴舞楽写クラブ「写真展」
- 11月 平三小学校「陶芸展」

秋は芸術の季節です。センター内でふと芸術作品に触れあいたくなったら、2階ギャラリーにお立ち寄りください。月替わりで様々な展示を行っています。

《過去の展示風景》

